

# さんじょ図書館だより 特別版

令和2年4月

## ～ お家で読書を楽しもう ～

読書は、自宅で簡単にできる娯楽の1つだと思います。しかも、本を読むことで、今まで知らなかった世界を知ることができたり、自分では体験できない冒険を体験したような気持ちになることもできます。

今回は、小学校高学年の児童のみなさんにおすすめの本を選びました。参考にしてみてください。



### 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

／ブレイディ みかこ／新潮社

(内容説明)

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富の差もごちゃまぜのイカした「元・底辺中学校」だった。ただでさえ思春期ってやつなのに、毎日が事件の連続だ。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり……。何が正しいのか。正しければ何でもいいのか。世界の縮図のような日常を、思春期まっ只中の息子とパンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗りこえていく。(本の帯より)

**読めば必ず誰かと話をしたくなること間違いない!!**

(おすすめポイント)

全員に読んでほしい本です。もはや図書館で借りるより、一家に1冊合ってもいいと思います。著者の息子の通う中学校(イギリス)での日常は、私たちの生活からは想像できないことも起こります。しかし、こんなに心を動かされるエッセイはなかなか無いと思います。とにかく衝撃的な1冊です。



### 『星の旅人—伊能忠敬と伝説の怪魚』／小前亮／小峰書店

(出版社内容情報より)

行方知れずの父を探すため、少年は伊能隊と共に旅をする。没後200年を迎えた伊能忠敬の足跡を少年の視点で描く歴史読み物。伊能忠敬の生い立ちや、時代背景、当時の風俗、測量技術の進化など、解説ページも充実。

(おすすめポイント)

**日本全国を測量!! その距離ほぼ地球1周!!**

昔から伊能忠敬にはそこはかとなく親近感がありました。しかし、日本地図を作った人という程度の知識しかなく、この本を読んで驚愕です。地図作りがこんなにも地道な努力の積み重ねだったとは。気が狂うほどの作業の繰り返しです。しかも、元は商人で、今で言う定年退職後に自分より20歳も年下の師匠に教えを請い、地図を作る事業に私財を投入して取り組んでいたそうです。伊能忠敬、恐るべし。また、行方知れずの父を探す平次の視点から物語が語られるので、とても読みやすいです。平次の父は本当に死んだのか、生きているならなぜ帰ってこないのか。「神の魚」の正体とは!?

## 『とりかえばや物語』／田辺聖子／

(内容) (出版社内容情報より)



都で評判の権大納言家の凛々しい若君・春風と、美しくたおやかな姫君・秋月。実はこの異母兄妹、春風は姫君で、秋月は若君。「ああ、このふたりをとりかえられたらな…」という父の願いもむなしく、ついに二人は正体を隠して宮中デビュー!!

春風は帝のおぼえめでたく出世街道まっしぐら、秋月は女東宮の尚侍として寵愛され後宮の花となって…偽りの生活はどこまで続くのか!? 男装して宮廷社会へ打って出た姫と女装して尚侍になった若君。男女入れ違いの異母姉弟が繰り広げる奇想天外ハチャメチャなラブコメ!

(おすすめポイント)

現在とは全く違う恋愛感覚に驚くことが多いかもしれませんが、女性が男性に対して抱く様々な感情は、今も昔も変わらないような気がします。男性として働く春風には共感するところが多いです。女性として生きる秋月の行動には驚かされることが多々ありました。また、「夏雲」という男性にも注目です。彼は、二人の人生に大きく関わってきます。彼に対する感想を是非とも語り合いたい1冊です。



## 『平安女子の楽しい!生活』／川村裕子／岩波書店

(内容)

現代の女子と同じように、恋に悩み、おしゃれを楽しみ、将来を真剣に考えていた平安女子。その思いと一緒に味わいながら、住まいやファッション、恋愛と結婚、身分や進路など、古典常識を楽しく身につけよう♪ メールテクや夢の探し方など、いまでも役立つ情報も満載。美しい挿絵もいっぱい、一番わかりやすい古典入門です。(出版社内容情報より)

(おすすめポイント)

「古典の本なんて堅苦しい!」と思っている人はいませんか? この本は、全く堅苦しいところがありません。読んでみると、まるで親切な旅行ガイドと一緒に千年前へタイムスリップしたような気持ちになります。また、この旅行ガイド(著者)は、平安女子の様々なエピソードを面白く紹介してくれます。

難しい古文は一切出てきません。楽しみながら読んでみると、いつの間にか古典の知識が身についているという一石二鳥の本です。中等部図書室に置きますが、高等部生にもおすすめです。

## s y u n k o n カフェごはんレンジでもっと! 絶品レシピ／宝島社

(出版社内容情報より)

人気No.1 料理ブロガー、山本ゆりさんの最新刊! 「魔法のような手順で本格的な料理」と大好評のレンジレシピ本第2弾です。昨年始めたツイッターでもレンジレシピが大反響!

「ほったらかしでできる」「味が決まる」「想像の100倍おいしい」「小1の息子が作れるようになった」「革命」「洗い物が楽」「時短料理の味方」「衝撃的な簡単さ」と大絶賛。

「食べる器でチン! 速攻ごはん」「帰ってチン! 出来立て熱々キット」「材料一つで即一品」など、ますますパワーアップした自信の150レシピをお届けします。

(おすすめポイント) 笑えるレシピ本です。今こそ料理に挑戦してみたいか、か。

## 『ぼくだけに見えるジェシカ』／アンドリュース・ノリス／徳間書店

(内容説明)

ファッションに興味を持つフランシスは、「男のくせに」とからかわれ、学校で孤立していた。ところがある寒い冬の日、校庭のベンチでひとりで昼休みを過ごしていると、ノースリーブの女の子が同じベンチにやってきた。フランシスが紅茶をさしだすと、その女の子、ジェシカは、驚いたようにいった…。「わたしが見えるの？…あなたも死んでるの？」やがて、フランシスのほかに、もう二人、ジェシカの姿が見える子がいる、とわかる。なぜこの三人だけが…？そして、ジェシカがこの世にとどまっている理由とは…？幽霊の少女との友情を通して変わってゆく少年と仲間たちの姿を描く、ちょっと不思議な、あたたかい物語。(本の内容紹介より)

いつかは会えなくなってしまう それは何となく分かってる

(おすすめポイント)

「何となく周囲になじめない…」と考えることはありませんか。そんな人におすすめの本です。ジェシカが見える3人にはある共通点があります。そして、それこそジェシカが幽霊になった理由、物語の結末に関わってきます。また、フランシスがジェシカに出会ったことにより、フランシスだけではなく周囲の人々の人生までもが変わっていくところが読みどころです。

## 『世界一おもしろいペンギンのひみつ』



／上田 一生／サンマーク出版

(内容紹介)

テレビでもたびたびとりあげられる「皇帝ペンギン」のすべてが、これ一冊でわかる！皇帝ペンギンが生まれてから大人になるまでを、絵日記とイラストで紹介。ペンギン研究の第一人者である上田一生さんのわかりやすくおもしろい解説が満載。(本の内容紹介より)

(おすすめポイント)

うんちを2メートルとばす！ オスなのにミルクをだす!?

2ヶ月、氷の上でご飯が食べられない状況を想像してください。死にますよね。しかし、ペンギンのお父さんは、2ヶ月間なにも食べないで生まれたばかりの赤ちゃんを氷の上で育てるそうです。「どうやって!?!」「お母さんは!?!」と思いませんか。また、ペンギンの世界にも保育園のようなものがあるそうです。この本は、赤ちゃんペンギンの「ぺんた」が書いた絵日記を読むことでペンギンの生態が分かるようになっています。とてもかわいらしく勉強になる本です。

## 『人生はワンモアチャンス!』／水野 敬也／文響社



(出版社内容情報より)

大人気！シリーズ累計190万部の最新作！『人生はワンチャンス!』がさらに魅力的になって帰ってきました。飼い主や仲間へ忠実で、きりとりりしく、けれどときに少しだけ抜けている。そんな、かわいい犬たちの写真にそえられた、思わず笑えるキャッチコピー。裏面の偉人たちの名言と逸話からは、人生において大事なことを学べます。

(おすすめポイント) 心を射ぬかれる言葉に出会えると、きっと日常が変わると思います。

(本文よりおすすめの名言)

どんな日であれ、その日をとことん楽しむこと。ありのままの一日。ありのままの人々。

オードリー・ヘップバーン イギリスの女優 1929-1993

## 『みんなの道徳解体新書』／マッツァリーノ・パオロ／筑摩書房

(内容説明)

日本人の道徳心は本当に低下しているの？小中学校での道徳教科必修化の前に、道徳のしくみをくわしく勉強してみよう！学校では教えてくれない、道徳の「なぜ？」がわかります。

(本の内容紹介より)



(おすすめポイント)

とにかく笑える1冊です。何が笑えるかということ、現在使われている道徳の副読本（教科書のようなもの）に掲載されているエピソードの数々です。エピソードの裏に隠された執筆者の意図に、鋭く突っ込む筆者のコメントがとても面白いです。思わず声を出して笑ってしまうので電車で読むのは避けた方がいいと思います。

また、「道徳」とは何か、「道徳」の授業はどうあるべきなのか。筆者がたどり着いた答えから、新しい「道徳」が見えてくるかもしれません。

## 『東京ディズニーリゾート キャストの仕事』／講談社

(出版社情報より)

「キャスト」とは、東京ディズニーリゾートで働く従業員のことです。この本は、東京ディズニーリゾートのキャストの職種27をすべて紹介し、仕事内容をわかりやすくまとめています。さらに、キャストの1日に密着して仕事の流れを写真で解説するなど、見どころが満載。また、現役キャストが東京ディズニーリゾートで働くことへの想いを語るキャストインタビューや座談会など、読み物ページも充実しています。

### 「ごきげんよう、プリンセス」

(おすすめポイント)

なぜ、東京ディズニーリゾートで働く従業員のことを「キャスト」と呼ぶか知っていますか？これには、「おもてなしの心」や「気配りの精神」が込められた素敵な理由があります。是非この本を読んで知ってもらいたいです。ディズニーが大好きな人、ディズニーで働きたい人、何となく「働くこと」を考え始めた人にもおすすめです。

アトラクションの案内や誘導、清掃、飲食施設での接客など、様々な仕事を通してパークの魅力を再発見することができます。キャストの衣装にも注目です。細かいこだわりポイントがたくさんあります。また、キャストデビューまでの道のりや、キャストだけの特典を知ることができます。

## ～なぜ、本を読むことが大切なのですか？～



1冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。私も1冊の本に出会って教育に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。また、様々な本を読むことでたくさんの著者と出会い、色々な考え方ができるようになると思います。読める時に少しずつでもかまいません。本を読んで自分の可能性を広げましょう。